

# ひろば

吹田ホスピス市民塾会報誌

Vol.23

第 23 号 2017 年 4 月 15 日発行

吹田ホスピス市民塾

発行者：小澤和夫

吹田市藤が丘町 27-1-405

TEL/FAX：06-6388-6257

E-mail：ozak200@nifty.com

URL：suita-hosupisu.jimdo.com

## 2016 年度年次総会 提案どうり決定、終了

3 月 18 日 (土) 14 時～16 時 デュオで開催、すべて提案どうり決定されました。  
詳細は同封の議案書等をご覧願います。

「がんになっても安心できる吹田の街づくり」をめざして「吹田在宅ケアネット」の組織強化、「吹田がん情報コーナー」の活動、ピアサポーター研修と、『市民の皆さまの役に立つ喜ばれる活動』をさらに強化していく事が最も大切な課題であることの再認識をいたしました。

なお、(1) 会則の主要改正点は、①目的 (第 1 条) の前文を「がんになっても安心して暮らせる吹田のまちづくりをめざして」としたこと ②活動 (第 4 条) を大きくくり表現 ③会計 (第 6 条) ③で会費 2 年間未払いの時は自動退会、などです。

(2) 役員は昨年と同じく、15 名の体制となりました。みんなで頑張っって参りたいと存じます。

(3) 非会員さんが 2 名傍聴にお見えでしたが、その後入会されました。

また、総会終了後に懇親会を持ちましたが大勢の皆さまにご参加頂き、日頃の活動では見られない新たなお姿を拝見し、誠に楽しい一時を過ごすことができました。

最後に会員の皆さまの、例会などへのご出席をお願いし報告とさせていただきます。

(吉田)

### 「市民塾」を取り巻く組織

総会の活動報告などで記載の組織と当市民塾との関係が分かりにくいという声があったので、補足です。

「がん対策基本法」に基づいて国の基本計画を立案：

(厚労省) がん対策推進協議会：(第 3 期) がん対策基本計画の策定

「がん対策基本計画」に基づいて、大阪府の推進計画を立案：

大阪府がん対策推進委員会：(第 3 期) 大阪府がん対策推進計画の策定  
下部組織として 7 部会

「患者代表」として、大阪府がん対策推進計画の立案に参画：

大阪がん患者団体協議会：21 団体。上記推進委員会に 2 名の委員を推薦。  
上記 7 部会のうち、6 部会に委員を推薦。(当市民塾も加盟)

「吹田地域のがん患者の在宅ケア推進を図るための任意団体：

吹田在宅ケアネット (任意団体)：世話人 20 名。代表世話人：市民病院副院長  
(当市民塾から 3 名の世話人)

「吹田市の在宅ケアの推進のための懇談会」：

吹田市地域医療推進懇談会：吹田市の在宅ケアの組織・機能づくりのための  
吹田市の懇談会 ('16 年度～)。

**第20回「吹田在宅ケアネット」総会～「在宅緩和ケア推進のために実践していること」**

昨年9月の組織改革(会員制)後2回目の総会が、さる3月11日(土)14:00～16:30、メイシアター集会室で、約80名の出席を得て開催。

初めに、「吹田のがん患者・家族に必要な支援について」市立吹田市民病院がん相談支援センター看護師長の磯田容子さんからお話があり、その後、各職種世話人8名から報告。(以下、敬称略)その後パネルディスカッション。最後に、職種別の会合があつて終了。

- 病院：済生会吹田病院 医師 藤田 和子 済生会千里病院MSW 岩間 紀子  
市立吹田市民病院 医療相談室社会福祉士 齊藤 健治
- 在宅医：戸川医院 院長 戸川雅樹
- 訪問看護：リード訪問看護ステーション 管理者 三輪 真由美
- 調剤薬局：岡村薬局 管理者 岡村 俊子
- 居宅介護支援事業所：あいりすケアプランセンター 介護支援専門員 上田 節子
- 市民：吹田ホスピス市民塾 会長 小澤 和夫

新組織になって6か月。本格的な活動はこれからですが、「がん患者さんが希望する人生の最終段階の過ごし方」が叶うようなネットとシステムの構築が一日も早く実現するように努力をしていきたいと考えています。(小澤)

**大阪府がん対策推進委員会 ‘16年度の活動集約**

同委員会には7つの部会が設置され、その6部会に大阪がん患者団体協議会から委員を送っています。‘16年度は、各部会とも年1回の会合でした。1～2月に集中して開催された部会のうち、次の5部会を傍聴しました。

- がん検診・診療部会 ○がん診療拠点病院部会 ○患者支援検討部会
- 緩和ケア推進部会 ○小児がん部会

(感想)

- ① 各部会は、多忙な委員さんが計画の実現を目指して努力頂いている。
- ② しかし部会の目標が明確でないために、評価も不明確。定量・定性目標の設定が必要。
- ③ 部会での決定を府の市町村で実践に移す仕組みがない。人的・予算的な支援が必要。
- ④ 今後のあり方：気付いたことを5件、3月23日、大阪府に提案(別稿)

なお、昨年12月がん対策基本法が改正され、本年6月には「第3期がん対策基本計画」が決定されるのを受けて、「第3期大阪府がん対策推進計画」の検討が始まり、来年3月には同推進計画が決定される予定です。(小澤)

**大阪がん患者団体協議会 (HPあり) <https://osaka-cancer-patientsgroup.jimdo.com>**

大阪府がん対策推進委員会に2人の委員、7部会の中の6部会にそれぞれ1人の委員を推薦。

この1年、何回かの勉強会が持たれましたが、活動の展開には必ずしも十分には結び付いていません。今後、大阪府内の患者・家族のための更なる活動展開が求められます。(小澤)

## 大阪府（がん対策グループ）との意見交換

3月23日（木）14～16時、がん循環器予防センターで、大阪がん患者団体協議会との意見交換会が開催され、当市民塾から以下の意見（抄）をお話ししました。

### ①大阪府がん相談情報サロン（仮称）の新設：

がんに関する市民の相談は、がん診療拠点病院の相談室でカバーすべきであるが、多くの患者・家族が相談場所が分からなくて、或いは行き難くて、大きな不安と悩みの中にいらっしやる。できれば、府内に複数箇所。なお、相談体制の推進・強化のための「ピアサポーター研修」の企画が必要。

### ②在宅医へのPEACE（緩和ケア）研修のフォロー体制づくり：

病院の勤務医は院内でのフォローが可能ですが、在宅医さんはその体制がないから、各地区でフォローのためのネットワークが必要。

（小澤）

## 吹田市地域医療推進懇談会

2025年問題・・・所謂「団塊の世代」が人生の最終段階を迎える時代が始まります。2040年には50万人の看取りの場所がなくなるとも言われています。

そこで国は「在宅医療の推進」を全国的に推進、吹田市も'16年度から懇談会を設けて、在宅医療の体制づくりの検討を始めました。医師会、歯科医師会、薬剤師会、急性期病院、在宅医、訪問看護ステーションなど十数名が参加して4回の会合が開かれ、傍聴いたしました。

この1年間の検討を経て方針が決定され、来年度はその具体化が進む予定ですが、この40年間在宅死より病院死が多い現状を変えるのは大変なエネルギーが必要です。あるべき目標の姿を明確にして、「そのために、誰が、何を、何時までに、どのようにするか」を具体化していく事が望まれます。

私たち市民もまた、環境の変化を認識して、人生の最終段階の過ごし方を考えなければならないと思います。

（小澤）

## 豊中市民病院緩和ケア（PEACE）研修

2月11～12日、市立豊中病院の緩和ケア研修会（PRACE）に招かれ、20分でしたが、「がん患者から医療者へのメッセージ～コミュニケーション」と題してお話をさせて頂く機会を得ました。

緩和ケア研修会に招かれたのは、淀川キリスト教病院での2回について、3回目でした。今回は、2日間約14時間の研修を傍聴させて頂きました。その間、求められて2度発言をさせて頂きました。また、2人の歯科医師さんから声をかけて頂いて、吹田での活動の参考にと資料も頂いたり、大変有益な経験をさせて頂きました。

市役所ロビーの「吹田がん情報コーナー」「がんサポートカフェ」「吹田がん患者・家族会」、昨年10月の「長尾和宏講演会での2つのアンケート」などを通じて感じてきた患者・ご家族の思いを精一杯お伝えしました。

（小澤）

## 吹田まちづくり市民塾展示

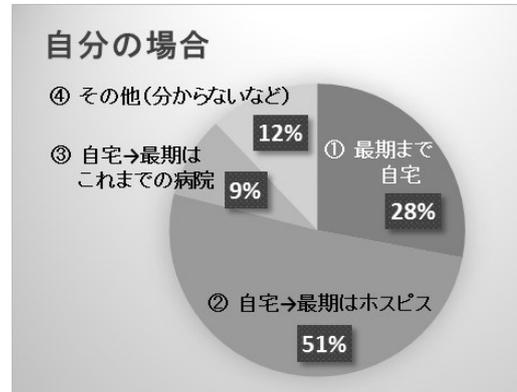
3月27日から31日 吹田市 市民塾連絡会（2002年スタート）の活動の展示が千里ニュータウンプラザ2階ロビーにてありました。吹田ホスピス市民塾もポスター展示 チラシ・冊子類を置かせて頂きました。（半崎）



## 長尾講演会アンケート結果（再掲）

前号でのグラフ表示に誤りがあり、分かりにくいとの声がありました。  
簡潔に、グラフを修正いたしました。

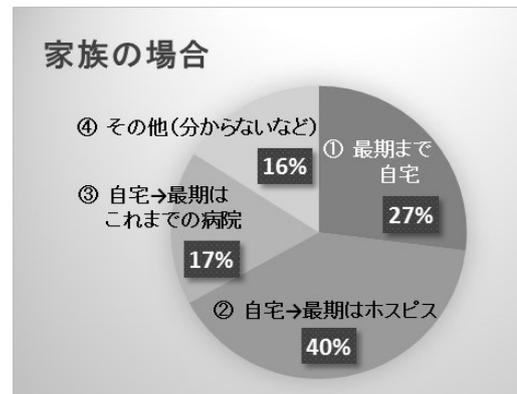
1. もし「あなた」が末期のがんにかかり、  
余命が限られているとしたら、どのような療養生活を  
「送りたい」ですか。  
～自宅での療養を希望される場合、  
実現は可能だと思われますか。(%)



末期を過ごす場所	計	そ の 場 合 ？	実現可能	実現困難	分からない
			① 最期まで自宅	28	41
② 自宅→最期はホスピス	51	29	45	27	
③ 自宅→最期はこれまでの病院	9	43	43	14	
④ その他(分からないなど)	12	21	47	32	
計	100	33	41	26	

2. もし「あなたのご家族」が末期のがんにかかり、  
余命が限られているとしたら、どのような療養生活を  
「送らせたい」ですか。(%)

末期を過ごす場所	計
⑤ 最期まで自宅	27
⑥ 自宅→最期はホスピス	40
⑦ 自宅→最期はこれまでの病院	17
⑧ その他(分からないなど)	16
計	100



<コメント>

- ① ご希望が実現可能と考えておられる方が33%・・・この割合を増やしていきたい。  
 ② '08年3月に、同様のアンケートを頂きました。回収：333名。  
 1位：「自宅⇒ホスピス」48%。「自宅⇒これまでの病院」27%を加えると75%。  
 2位：「最期まで自宅」12%。  
 ⇒「最期まで自宅」が+15%、「自宅⇒ホスピス」が-8%と、変化が見られます。  
 なお、ご本人の場合とご家族の場合との違いがあまり変わらなくなっている。

## 今年もデュオ祭に参加しました

去る 2 月 26 日に吹田男女共同参画センター（デュオ）で行われたデュオ祭に参加いたしました。

デュオ祭は活動発表、活動展示、販売・フリーマーケットがあります。当市民塾は活動発表と今回初めて活動展示を行いました。

活動発表は、小澤会長が「がんになっても安心して暮らせる吹田のまちづく～予防・早期発見」のテーマで行いました。聞いて頂いた方は約 20 名と少人数でしたが熱心に耳を傾けておられました。活動展示では、ブースを頂いて市民塾の活動を紹介するポスターを掲示し、がんで困っておられる方の相談コーナーも行いました。

活動紹介のポスターは、1 月に参加した患者団体 F F J C P の {第 3 回日本がん患者フォーラム} で活動紹介ベストポスター賞を頂いたものです。ポスターをご覧になった方は皆さん「活動がよくわかるわー」と言っていたと、視覚から入る情報の大切さを実感しました。

お越しいただいた方がんに関してお聞きすると、何名かの方はご自身やご家族が経験されており、がんが身近なものになっている事が判りました。また、その時に誰に相談していいかわからず不安だった事をお聞きしました。

わたしたち市民塾の活動はなかなか目に見えた成果が上がりず、これでよいのか自問自答することも多いですが、こうした活動が一般市民の目に触れることで、がんになって困った時、不安に思われた時に「ホスピス市民塾がある」と思い出していただければ嬉しいです。

(益田)



## 2 月 16 日八尾市立病院等の共催「患者と向き合うがん医療を実現するために」

～患者を支える医療提供をめざすための医療従事者と患者の合同検討会及び講演会～が開催されました。がん患者から医療従事者へのメッセージには

- ①「がん患者さんの看病をしている人のサポート協会」代表 酒井たえこ氏
  - ②「一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン 大阪支部理事」片山環氏
- 2 部には

「マギーズ東京の取り組み」NPO 法人マギーズ東京 共同代表理事 センター長 秋山正子氏の講演がありました。

話を聞きながら「がん患者・家族会、遺族会」の大きな役目を強く感じました。(半崎)

## 関西がんチーム医療研究会

3 月 4 日第 20 回関西がんチーム医療研究会が「がんの地域連携～地域で支えるがん医療～」のテーマで、大阪科学技術センターで開催されました。

第 1 会場（メインホール）では、

- ①シンポ「がん地域連携パスの検証と今後」で、大阪市立総合医療センター、堺市医療圏がん診療ネットワーク協議会、市立豊中病院など 5 病院が。
- ②教育講演「ここまでできる在宅医療」で、すぎもと在宅医療クリニック院長杉本由佳氏が。
- ③シンポ「がん地域連携の取り組み」で、関西医科大学総合医療センター、大阪市大正区医師会など 6 施設が。
- ④相談支援の部で、済生会吹田病院など 3 施設が。それぞれ発表。

なお、杉本氏の「在宅医療の実際」、大正区のネットワークのお話しは、吹田でも是非にと思わされる内容でした。

第 2 会場（中ホール）では、「在宅医療」「啓発事業」「退院調整」など 11 のテーマについて発表が。「在宅医療」の分野では当市民塾を代表して、佐々原友子さんが、「地域で支えるがん医療～ピアサポーターの立場から～」と題して発表して、多くの聴衆の大きな関心呼びました。

(小澤)

# 定期開催のお知らせ 何れも申込み不要・無料

## | 定例会

男女共同参画センター デュオにて

- 4月 8日
- 5月 13日
- 6月 3日
- 7月 1日

いずれも土曜日 13:30 ~ 15:30

— どなたでもご自由にご参加下さい

## | 患者・家族会 ひまわりの会 (遺族会)

男女共同参画センター デュオにて

(会場は別にとっています)

- 4月 15日
- 5月 27日
- 6月 24日
- 7月 22日

いずれも土曜日 13:30 ~ 15:30

— 突然のがんの告知でどうしていいかわからない方、現在治療中だけど生活の不安をどこへ話したらいいかわからない、家族のがんで悩んでいる方、一人で悩まずお話してみませんか?

## | 吹田がん情報コーナー

吹田市役所ロビーにて

- 4月 20日、27日
- 5月 18日
- 6月 8日、22日

いずれも木曜日 13:00~16:00

— がん患者さん、ご家族及び一般市民の皆さんに、がんに関するいろいろな情報をお伝えしています

後援：吹田市・吹田市民病院

## | がんサポートカフェ

栄えるカフェ in すいたにて (ファミリーマート

吹田栄通り商店会店)

- 4月 21日
- 5月 19日
- 6月 16日
- 7月 21日

いずれも金曜日 14:00~16:00

— がん患者さん及びご家族と、それをサポートする方々が集う交流の場です。お気軽にご参加ください。

## More Info...

《ボランティアフェスティバル》5月28日(日) 10:00~15:00 市役所駐車場

《テーマカフェ》6月10日(土) 14:00~15:30 ラコルタ(申込要)

テーマ：「がん患者さんが、自宅で穏やかに過ごすために」(プレゼン：小澤)

## 編集後記

新年度がスタートしました。昨年度末の総会では過去最高数の皆さんがお集まり頂き、一層親睦を深める事ができました。本年度も何卒宜しくお願いいたします。

## 会員の皆様へ～お誘いとお願ひ

会員の皆様のご参加をお待ちしております。

ご意見・ご希望もお聞かせ頂き、ご協力ください。

★掲載可能な“みなさまの体験記”を募集しています

★会報誌の印刷、発送のお手伝いできる方、ご連絡下さい。

会員を随時募集しています

リーフレットご入用の方は役員までお知らせください。

薬局などにも置かせていただいております。



— がんになっても安心できる吹田のまちづくりを —

# 吹田ホスピス市民塾

H P <http://suita-hosupisu.jimdo.com>

ブログ [http://blog.goo.ne.jp/mangopurin\\_2013](http://blog.goo.ne.jp/mangopurin_2013)